

地震は突然やってくる

先日、新潟県中越地方を襲った直下型地震は記憶に新しいところですが、日本は世界でも有数の地震多発国です。地震が大きな被害をもたらすことも稀ではありません。地震は世界のいろいろな地域で起こりますが、実は発生のしくみにより、いくつかのタイプにまとめられます。今回は、地震のメカニズムといざというときの備えについて考えてみましょう。

地震はなぜ起こるのでしょうか？

□地球の表面は、10 数枚のプレートと呼ばれる硬い板によってジグソーパズルのように敷きつめられています。ほとんどが変形しないで、それぞれの方向にマントルの動きにより(熱による対流が原因)、年間数 cm ~ 10 数 cm 程度の速度で水平に移動しながら、ぶつかり合ったり、潜り込んだり、すれ違ったりしています。

□日本列島に関係するプレートは太平洋、フィリピン海、ユーラシア、北アメリカの 4 枚あり、太平洋プレートはほぼ西向きに、フィリピン海プレートは北北西の向きに日本列島に向かっていています。そして、それぞれ日本列島の下に潜り込んでいます。

□多くの巨大地震は、このプレートが潜り込む境界でおきています。このため、これを「プレート境界型地震」といい、またプレートが潜り込む境界は海溝となっているので「海溝型地震」とも呼ばれています。予想される東海地震は駿河湾内の駿河トラフで起きるプレート境界型地震です。

【プレート境界型地震が発生するしくみ】

1. 海底を作っているフィリピン海プレートが年数 cm の割合でユーラシアプレートの方へ移動し、その下へ潜り込む。
2. ユーラシアプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。
3. ひずみはその限界に達した時、ユーラシアプレートが跳ね上がり、地震が発生する。その際、津波も発生する

裏面に続きます

【直下型地震】

内陸部の地下10～20mまでの比較的浅いところで起こるものを「直下型地震」と呼びます。都市部などの真下でも起こるため地震の規模は小さくても、被害は大きくなります。また揺れ方も、初めにやって来る地震の縦波（P波）と、その次の本格的な横揺れの波（S波）との間隔も短いので、いきなり下から突き上げられるような激しい揺れとなります。23日に発生した「新潟県中越地震」も直下型地震でした。上越新幹線にもS波をセンサーが検知し送電をストップ停車させるシステムがありますが、停車前にS波が到達し脱線したといえます

いざというときの為に

【非難時の服装や持ち物】

ヘルメット：頭は最優先に守らなければいけません。

非常時持出袋：最小限にまとめて日頃から準備・点検をしておきましょう。

長袖長ズボン等の衣類：怪我や火傷から身を守るために木綿などの燃えにくい繊維の物を着用しましょう。季節によっては防寒着も必要です。

軍手：瓦礫をどけるなど様々な場面で非常に役立ちます。

底の厚い靴：ガラスや瓦礫で足を痛めると、行動の大きな障害になります。普段から履き慣れている丈夫な靴が良いでしょう。

携帯ラジオ：正確な情報を入手するために必要です。

水筒：災害時水が非常に重要です。日頃より備えましょう。

ホイッスル：万が一、土砂や家屋に閉じ込められた場合に救助への重要な手掛かりとなります。

地震は突然やってきます、いざというときの為に日頃から皆さん一人一人が、震災に対しての備えをしておきましょう。また、震災時避難場所など詳しい情報は横浜市ホームページ「<http://www.city.yokohama.jp>」防災情報をご覧ください。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL：045（323）6000 FAX：045（323）2974

E-mail：g00833@shugin.go.jp

<http://www.hachirou.com>